



## 特定ケア看護師の魅力

伊東市民病院 特定ケア看護師 進士勇介

私がJADECOM-NDC研修センターを修了して3年の月日が経とうとしています。この3年間を振り返ると、多くの方々との出会いが一番の経験であり、宝物になったと思います。多くの医師、看護師、コメディカルの方々との出会い、仕事や時間を共有し、議論し、多くのことを吸収できる豊かな日々を過ごすことができました。

私の経験が参考になることは少ないとは思いますが、少しでも特定ケア看護師としての楽しみややりがいをお伝えできればと思います。

私が特定ケア看護師を目指したきっかけの一つは、身近に何でも器用にこなしてしまう“スーパーマン”が存在したことです。毎日忙しく駆け回り、なかなか捕まらないことが多いのですが、その裏で患者さんの体力や背景を深く理解しており、無理なく、鮮やかに調整してしまう姿に感動を覚えました。忙しく駆け回る“スーパーマン”の手助けが少しでもできればと思います。NDC研修センターへの参加を決めたことを今でもはっきり覚えています。

いざ、NDC研修センターでのe-Learningが始まると、1時間の講義を理解するために数時間を要する難解さに驚きを感じつつも、奨学金の重さを背中に感じながら机に向かったことを覚えています。

座学を終え、臨床研修中は暖かい指導医師の下で多くを学びました。21区分38行為を学ぶことはもちろんのこと、患者さんの全体像を把握することに重きを置いた教育を受けました。集中治療専門医のセンター長から直に臨床推論、生理学、感染症学を学ぶ機会も多くあり、振り

返ると本当に豪華な研修であったと思います。

そのような研修期間を経て、現在は伊東市民病院に勤務しています。内科チームに所属させていただき、担当患者様の治療サポート、在宅療養の指導、退院調整まで一貫した関わりを持たせていただいております。外来から入院を経て、入院管理、退院、特定の患者様は訪問診療まで関わるので、患者様と家族を含めて、一連の関わりが持てるのが最高の経験であり、やりがいに直結しています。私たち、特定ケア看護師が診療チームに参加させていただくことで、医師や病棟業務の軽減はもとより、多職種で治療方針を共有し、多職種間の懸け橋となって、多方向からアセスメントしたよりよい在宅療養環境を調整することがメリットであり、役割となっています。

また、医療過疎地への派遣を経験できることも魅力の一つでしょうか。私は与那国町という、日本の最西端にある沖縄県の診療所に派遣されました。暖かい診療所長の指導の下、外来の補助、救急搬送者の初療からヘリ搬送への対応、コメディカルの配置がないため調剤や放射線検査の補助など貴重な経験ができました。看護師



伊東市民病院カンファレンスの様子



与那国町診療所

の視点からご高齢の夫婦の生活環境の調整や、日常生活の相談など、研修で得た知識と看護師としての経験の双方を生かすことができました。離島という資源の限られた環境での調整に難しさを感じつつも、住人の健康に貢献することができたと思います。少なからずJADECORNDC研修センターの掲げる目的・目標に沿った活動ができたと思います。

私は、特定ケア看護師は、臨床推論、看護論の双方が使えることに大きな価値があると考えています。皆様も日常的に医学的問題が解決しても、在宅療養に結びつかない患者様を少なからず経験しているのではないのでしょうか。医学的な介入に加え、早期から具体的な在宅療養プランを構築できることが、私たちの存在価値に直結するのだと考えています。それは研修に参加する以前の病棟看護師経験が大いに役立っています。研修参加の要件に最低5年以上の経験が課せられていることの裏付けにもなるのでしょうか。看護から日々見えること、感じることを双方の視点で解決していくことができれば、医師-看護師間の間を取り持つよきパートナーとなることができるのではないのでしょうか。

さて、私が所属している伊東市民病院での一日の働き方として、内科診療チームに加えていただき、患者様を担当させていただいています。朝のチームカンファレンスで全体像のプレゼンテーションを行い、医学的問題の提示を行います。主治医、チームリーダー、チームメンバーの医師と協議し、その日に行うべきことを決定します。その他に救急外来の応援や、他科からの



日本最後の夕日が見える丘

発熱や貧血精査などの依頼への対応や、病棟業務への応援を行っています。締めくくりの夕方カンファレンスでは行ったこととその結果、退院調整などの報告を行い、1日が終わります。朝早くから始まる1日に慣れるまでに時間を要しましたが、現在では休日でも7時まで寝てしまうことがなくなりました。しかし、早起きの三文の徳を得た実感がないことが少し寂しく感じられます。

長くなってしまいましたが、特定ケア看護師はとてもやりがいのある役割だと思っています。私の場合は、その時々で医師、看護師、時にコメディカルのパートナーとして問題に向かうことができるのが最高のやりがいでしょうか。デメリットとすると勉強にパソコンを多用するので、目が悪くなることくらいでしょうか。視力を気にする方にはお勧めできませんが、参加を迷っている方はぜひ飛び込んでみてください。新しい役割にワクワクする日々が待っています。

これからも、いつか特定ケア看護師の“スーパーマン”と呼ばれる日を目指して、頑張っていきます。皆様とへき地医療の現場で一緒に過ごさせていただくことを楽しみにしています。

拝謝

暖かくご指導いただいた、小田和弘医師、笹井平医師、藤谷茂樹医師、金城元気医師、鈴木靖子次長、正木晶子看護部長にこの場を借りて深くお礼を申し上げます。